

藤井千秋展



FUJII CHIAKI
2014.9.20^{SAT}-11.9^{SUN}



KARIYA CITY ART MUSEUM 刈谷市美術館

会場：刈谷市美術館 会期：2014年9月20日[土]ー11月9日[日] 開館時間：午前9時ー午後5時(入館は閉館の30分前まで)、10/4[土]は午後7時まで開館
休館日：月曜日(ただし、10/13、11/3は開館)、9/24[水]、10/14[火]、11/4[火] 入場料：一般900円(700円)、学生700円(500円)、中学生以下入場無料
*()内は前売及び20名以上の団体料金 *前売券は、刈谷市美術館、刈谷市総合文化センター、刈谷駅前観光案内所、高浜市やきもの里かわら美術館、チケットぴあ(Pコード:766-355)の取扱いのあるコンビニ等で9月19日(金)まで販売 *身体障害者、精神障害者保健福祉、療育の各手帳所持者及び付添いの方(1名)は入場無料。入館の際に手帳をご提示ください。

主催：刈谷市美術館、朝日新聞社 後援：愛知県教育委員会 協力：愛知学泉大学

下：風の妖精(『女学生の友』第17巻第1号付録原画) 1966年/左上：アルバム(『少女の友』第44巻第1号付録原画) 1951年/右上：おやゆびひめ(『小学館の保育絵本 アンデルセンのおはなし』表紙原画) 1971年



爽やかに清らかに...
エレガントな抒情世界

大正から昭和期にかけて少女雑誌で人気を博した抒情画。その正統派の画家として最後の花を咲かせたのが藤井千秋(1923-85年)です。岐阜県加茂郡白川町に生まれ、京都で育った千秋は、京都市立絵画専門学校(現・京都市立芸術大学)図案科に入学しますが、戦争により学徒出陣し、京都で軍隊生活を送ります。終戦の前年(1944年)に同校を卒業。戦後、友人の勧めで画廊に持ち込んだ水彩画をきっかけに、『少女の友』(実業之日本社)から挿絵の依頼が舞い込みます。千秋の描く、透明感のある清楚な少女像は、当時の乙女たちに夢と希望を与え、瞬間に人気の挿絵画家となりました。口絵、挿絵のほか、レターセットやカードといった付録も手がける看板画家として大活躍しますが、1955年に『少女の友』が休刊。その後は、『女学生の友』(小学館)を中心に西洋的な香り漂う挿絵を手がける一方、『にんぎょひめ』『赤いろうそくと人ぎょ』など名作童話の数々を学年誌や絵本で発表し、幼い子どもにも愛される独自の童画の世界を描き出しました。

本展では、『少女の友』『女学生の友』などの代表的な少女雑誌の原画のほか、付録や便箋、布製品などの資料、『シンデレラ姫』などの名作童話の絵本原画もあわせて展示。マンガが少女雑誌を席卷し始めた当時、抒情的な世界が次第に失われていく中、最後までエレガントで華やかな抒情の魅力を贈り続けた千秋の仕事之余すところなく紹介します。

藤井千秋展

爽やかに清らかに...
エレガントな抒情世界



レター・セット(『少女の友』第43巻第9号付録原画) 1950年



にんぎょひめ(『小学館の絵本』第10巻第16号挿絵原画) 1968年



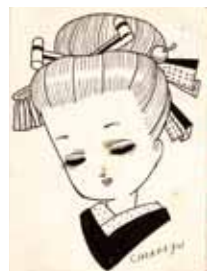
お人形の日に(『少女の友』第47巻第3号口絵原画) 1954年



想い出(『少女の友』第46巻第2号口絵原画) 1953年



便箋(ユウカリ社) 発行年不明



寒い日のためにソックス「趣味の手芸」(『少女の友』第42巻第2号カット原画) 1949年



港の町の物語(『女学生の友』第11巻第10号付録) 1960年



虹うらない(『少女の友』第44巻第8号口絵原画) 1951年



紫の貴婦人 1977年



雪の朝(『少女の友』第47巻第2号口絵原画) 1954年

FUJII CHIAKI 2014.9.20 SAT-11.9 SUN

会期中のイベント *高校生以上は要覧覧会チケット

① スペシャル・ギャラリー・トーク「藤井千秋の想い出」

千秋のご遺族に、在りし日の画家の素顔や作品の魅力についてお話いただきます。
9月20日[土] 13:30から1時間程度 会場=展示室 *参加費無料・申込不要

② 押し花ワークショップ

千秋が描いた影絵ハガキを台紙にして、押し花であなた流に飾りましょう。
9月20日[土]・21日[日]、10月18日[土]・19日[日] 各日とも10:00-15:00
講師=杉浦真代(ふしぎな花俱樂部 講師) 会場=2階ロビー 対象=どなたでも
定員=各日とも25名 参加費=1,300円 *申込不要

③ ワークショップ 服部麻加の「グラスクレイ・アート」教室

【作品タイトル=千秋の“椅子の上の少女たち” 光を透す粘土「グラスクレイ」を使って「藤井千秋」の原画をフィーチャーしたミニ・チェアを作ります。
10月24日[金] 10:00-15:00(休憩 12:00-13:30)
講師=服部麻加(アートクレイ・インターナショナル協会 会長)
対象=高校生以上 定員=30名 会場=研修室 参加費=4,000円

*要事前申込

申込方法=往復はがきの「往信用裏面」に、氏名(ふりがな)・年齢・住所・電話番号を、「返信用表面」に郵便番号・住所・氏名を記入してお申込みください。定員を超えた場合は抽選とし、結果をお知らせします。【10月10日(金) 必着】

④ ロビーコンサート

千秋が愛した調べをヴァイオリンやヴィオラで演奏します。
10月4日[土] 17:00から(40分程度) *10月4日は19:00まで開館 会場=1階ロビー
出演=木下知子(ヴァイオリン)、五十嵐美果(ヴィオラ) *参加費無料・申込不要

⑤ 学芸員によるギャラリー・トーク

9月25日[木]、10月9日[木]・23日[木]、11月6日[木] 13:30から1時間程度
ご希望の方は、当日1階ロビーにお集まりください。*参加費無料・申込不要

【電車】
JR・名鉄三河線「刈谷駅」下車、南口から徒歩約10分
*「刈谷駅」はJR「名古屋駅」から快速で約20分
【車】
名古屋方面より国道23号線(知立バイパス)
「ツツ木IC」から約5km *無料駐車場あり(60台)

刈谷市美術館 Kariya City Art Museum

〒448-0852 愛知県刈谷市住吉町4-5
Tel.0566-23-1636 Fax.0566-26-0511
<http://www.city.kariya.lg.jp/museum/>



【近くのミュージアム・スポットのお得な情報】本展観覧券(半券もOK)を高浜市やきもの里から美術館で提示すると「プラティスラヴァ世界絵本原画展-絵本をめぐる世界の旅-」(9月27日[土]-11月9日[日])の当日券が2割引になります。*1枚につき1名1回限り有効/各種割引との併用はできません。